

10.22 市民集会

写真の市民集会が天満橋のエルシアターであり参加した。最初 22 日は火曜日であり、平日午後なので大丈夫かと思った。あとから天皇即位行事のため、この日は「休日」と知って納得した。

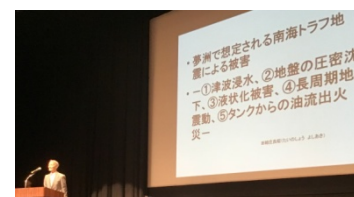
じつは私も集会の呼びかけ人の一人として名を連ねている。私の名前の横に、小さな字で「愛知万博の環境アセスメントに意見する市民の会世話人」と書いてある。愛知万博の開催が決まり、会場候補地の瀬戸市「海上の森」の環境アセスメントが、大きな問題になった。瀬戸市の住民や環境団体が中心となり、市民の会が結成され、私も世話人として活動した。今から 20 年ほど前のことである。だから、私の肩書は正確には「元」を入れなくてはならない。

名ばかりの「呼びかけ人」であるが、ビデオで集会参加を呼びかけた。キンチョーしながら、こんなことを制限時間 1 分で話した。— IR という名のカジノに反対します。大阪府市は万博前に夢洲でカジノを開業しようと焦っています。環境アセスメント=環境影響評価の事前調査を府市が「代行」しようとしています。あり得ないような話です。夢洲でのカジノは、「仮免許」にある大阪・関西万博にも悪影響です。夢洲でのカジノと万博に、これからも「セット」で声をあげていきます。

私のメッセージがユーチューブで流れたが、視聴率はわずかだった。でも、当日は広い会場に一杯、立ち見も出るほど盛況。じつに多彩でビジュアルな内容だった。平松邦夫さんの開会あいさつ、桜田照雄・阪南大教授のビデオによるカジノ「情勢報告」。田結庄良昭・神戸大名誉教授の写真のミニ講演「夢洲の観光開発は危険でムダ」から、あらためて夢洲でのカジノ・万博リスクを学んだ。また、レポートで紹介したい。

10 人のリレートーク、フリージャーナリストの西谷文和さん作の動画「夢洲ってどんなところ?」、大阪を知り・考える市民の会代表の中野雅司さん「市民が望む環境アセスメント」、各地からの連帯メッセージ、全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会の新里宏二弁護士の連帯あいさつ、あかん！カジノ女性アピール事務局長の藤永のぶよさんの軽妙な閉会あいさつと続いた。

集会後には、扇町公園までのパレード。天神橋をわたる長い行列。「カジノあかん！ 夢洲あぶない！」の声が沿道にこだました。



(2019 年 10 月 23 日)